

自己評価報告書

平成23年 3月 31日現在

機関番号：35404
研究種目：若手研究 (B)
研究期間：2008～2011
課題番号：20730226
研究課題名 (和文) 地方分権下における政府間協調の形成と維持に関する研究
研究課題名 (英文) On the formation and sustainability of intergovernmental cooperation under a decentralized economy
研究代表者 山口 力 (YAMAGUCHI CHIKARA) 広島修道大学・経済科学部・准教授 研究者番号：60435047

研究代表者の専門分野：公共経済学

科研費の分科・細目 (計画調書に記入したもの)：経済学・財政学・金融論

キーワード (任意)：租税競争、租税協調、繰り返しゲーム

1. 研究計画の概要

本研究では、政府間の政策協調がどのように形成、維持されるのかについて無限繰り返しゲームの枠組みで分析することを目的としている。特に、地方政府間で利害対立が起こり得る政策 (資本課税や環境政策など) に焦点を当て、経済変数 (人口規模、初期賦存量、生産性、選好など) を通じた各地方政府の政策決定が長期的な政府間の政策協調に対してどのような影響を及ぼすのか政策的インプリケーションを明確化する。

2. 研究の進捗状況

年次計画に従い、理論の整理・拡張を精力的に行い、いくつかの理論モデルを構築し、それらにもとづいた分析結果を論文にまとめ、関連学会などで発表している。

Itaya, Okamura, and Yamaguchi (2009) では、対称な多くの地域が存在する経済において、一部の地域間による部分的政策協調の可能性に焦点を当て、資本課税モデルに適用することで経済全体の地域数の増加 (減少)、もしくは、協調地域数の減少 (増加) が部分的協調的な政府間協調の長期的維持をより容易 (困難) にすることを明らかにしている。

また、Yamaguchi (2010) では、2 地域による資本課税モデルにおいて、資本の初期賦存量および住民の選好の異質性を導入することで、地域間の異質性上昇 (低下) が地域間協調を可能とする資本税率の範囲を拡大 (縮小) し長期的協調を容易 (困難) にすることを示している。

さらに、Itaya, Okamura, and Yamaguchi (2010) では、初期資本量の異なる 3 国による租税競争モデルを用いて、租税協調が可能と

なる全てのパターン (3 国全てによる協調、2 国による部分協調 3 通り) について分析を行い、どのような協調であっても租税協調が維持されやすいかどうかは資本賦存量が中規模である国の他国 (大国および小国) に対する資本賦存量の相対的な大きさに依存していることを明らかにしている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

地方政府間の政策協調に関する長期的分析という目的に照らしてみると、解析的に分析可能な租税競争の繰り返しゲーム・モデルを構築し分析結果を関連学会などで発表し論文にまとめて専門学術誌に投稿できたことは、未だ専門学術誌から掲載許可を得てはいないものの、当初の計画通りに進展していると評価できるものと思われる。

4. 今後の研究の推進方策

まず、専門学術誌に投稿中の論文に関しては、今後もワークショップ等で発表し、専門家やレフリーのコメントをもとに最終的に掲載されるよう改訂作業を集中的に行う。

また、当初の計画では環境政策における地方政府間協調にも言及しており、これまで得られた分析モデルの結果を拡張することで異なるインプリケーションが得られるかどうか検討し、得られた結果を論文にまとめ、関連学会で発表し専門学術誌に投稿することを目指す。

5. 代表的な研究成果
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[その他]

[雑誌論文] (計2件)

- ① Jun-ichi Itaya, Makoto Okamura, and Chikara Yamaguchi, Partial harmonization of corporate taxes in an asymmetric repeated game setting, Hokkaido University Discussion Paper Series A: No.229, pp.1-35, 2010, 査読なし,
<http://www.econ.hokudai.ac.jp/~pub/en/dp-ac.pdf>
- ② Jun-ichi Itaya, Makoto Okamura, and Chikara Yamaguchi, Partial tax coordination in a repeated game setting, IEB (Institut d' Economia de Barcelona) Working Papers 2009/15, pp.1-29, 2009, 査読なし,
<http://ideas.repec.org/p/ieb/wpaper/2009-10-doc2009-15.html>

[学会発表] (計2件)

- ① 山口 力、Partial harmonization of corporate taxes among asymmetric countries in a repeated game setting、日本経済学会秋季大会、2010年9月19日、関西学院大学
- ② 山口 力、Partial tax coordination in a repeated game setting、日本経済学会春季大会、2009年6月7日、京都大学

[図書] (計1件)

- ① Chikara Yamaguchi, Tax coordination between asymmetric regions in a repeated game setting, In Munenori Kitahara and Kazunori Morioka (Eds.), Social Systems Solutions by Legal Informatics, Economic Sciences and Computer Sciences, pp.43-56, 2010, Kyushu University Press

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：